

産業市民委員会
副委員長就任挨拶

産業市民委員会



長岡市議会議員
松野
けんいちろう
Vol.15
市議会レポート



2期目スタートの
一般質問

カラス等追い払いについて
産業市民委員会の所管質問

松野 憲一
副 委 員



選ばれる長岡の人づくりについて
一般質問

異常気象等の対応について
一般質問

新型コロナウイルス感染症が5月に5類へ格下げになったことにより、長岡市議会においても感染対策等の機材が撤去され、ウイルス禍前の状態に戻りました。久しぶりに飛沫防止対策が無い状態の演壇に立てたことは嬉しく思います。定例会では、長岡市議会議員選挙で訴えてきた人口減少に歯止めをかける施策の一つである「若者の定着」に着目し、学生の起業・創業の支援を中心に質問をいたしました。また、近年の異常気象等による影響で樹木が倒れるという事案が多く発生していることから、市内の森林整備や事前伐採対応について議論いたしました。今後も長岡のため、そして地域のため「先導提案型の姿勢」で皆さまの声を届けてまいりますので、引き続きのご支援ご協力を心よりお願いいたします。

長岡市議会議員 **松野 憲一**

▶選ばれる長岡の人づくりについて

Q.若者定着の現状と今後の展開について

A. 若者定着に向けては、若者提案プロジェクトの支援や米百俵デジタルコンテストなど手がけ、さらに起業を目指す学生起業家育成プログラムなど大学や高専と連携した数多くの事業を進めてきた。その結果、ウイルス禍であっても学生起業家も17名誕生した。若年層の転出超過も令和2年度から令和4年度では若干の改善ができた。

今後の取組は起業家精神を持つ若者、DX人材の育成、女性職業人ニーズに合わせた仕事づくりと働き方の整備に取組み、市内企業の魅力を高めることで若者定着を目指していきたい。また、女性の働く場づくり、長岡の未来に希望を持ってもらえるよう取組んでいく。【答弁者：磯田市長】

Q.長岡で活躍する学生の応援について

A. ミライエ長岡を新たな若者交流活動の拠点とし、様々な取組に一步踏み出そうとする学生一人一人を丁寧にサポートし、応援していく。ミライエ長岡に学生をはじめとした若者が集い、研究者や企業人、起業家など、多様な人材と出会い、交流することにより新たな発想や連携が生まれ、長岡の未来を創造する人づくりの場となるよう取組を行う。

【答弁者：ミライエ長岡担当部長】

Q.ミライエ長岡を中心とした

学生の起業・創業の今後の展開について

A. 4大学1高専が行う起業に関する単位互換の事業や学生のビジネスプラン発表などをNaDeC BASEで実施するほか、起業後のフォローアップ体制の拡充や学生起業家が活動しやすいワークスペースの整備も行う。さらに、ベンチャーやスタートアップ企業等に対するオフィススペースの提供や地元企業と学生の接点を増やす交流会の開催を実施し、学生が起業しやすい環境整備の促進に努めたい。

【答弁者：商工部長】

Q.土木部と北部地域事務所の

災害対応力を維持するための取組について

A. タブレット端末を活用し、各支所担当課と土木部で現場状況などの情報共有するとともに、包括的土木施設管理業務委託の中で地域に精通した企業が緊急時や被災確認のパトロールを行うなど、災害時における現場対応の水準の維持向上に努める。また、北部地域事務所が管轄する和島、寺泊、与板地域では、地域事務所の職員が支所長の指揮命令の下、災害発生前の警戒態勢の早い段階から支所で勤務し、パトロールなどの現場対応業務を行い、迅速な初動体制を確保していく。必要に応じて、本庁の土木部も支所へ支援に入るなど、全庁一体となって市内全域の安全・安心を確保していく。【答弁者：土木部長】

▶長岡駅前周辺の カラスの追払いについて

Q.カラス追払いの今後の対策について

A. カラスの鳴き声を使用した追い払い装置とレーザー光線による追い払いを実施する。レーザー光線はカラスの目の焦点が合わなくなり嫌がって逃げ出すというものである。大学などの専門家のアドバイス、指導を受け取組の検証をしながら進めていきたい。

【答弁者：環境政策課長】

Q.カラス駆除に取組む町内会や農家などへの支援について

A. 駅舎など、屋根があり安心してカラスが寝られる今のねぐらを解消するところから始めたい。しかし、ねぐらを解消することにより、新たな場所で被害が起きる可能性は考えられることから関係部局と連携し、現場の状況を踏まえて対応していきたい。【答弁者：環境政策課長】

▶『あぐらって長岡』の今後の展開について

Q.ふるさと体験センター(あぐらって長岡)に整備された

スマート農業トライアル施設の概要・目的について

A. 最新技術を活用したスマート農業を誰でも体験、学べる拠点として、ふるさと体験農業センター(あぐらって長岡)内に整備した。新しい農業の魅力や最先端技術を知ってもらい、女性や若者などが就農しやすい環境づくりや農作業の負担軽減、熟練技術の継承など、持続可能な農業の実現を目指すことを目的としている。【答弁者：農水産政策課長】

【松野のオ・モ・イ】

2022年12月議会において、「あぐらって長岡」施設の在り方を検討するため、ふるさと体験農業センターの指定管理期間が1年延長された。

長岡唯一の農業体験センターで**スマート農業の拠点**として農業者をはじめ多くの市民の皆さまが利用していくことは非常に良いことである。しかし、加工体験など、市民の皆さまに人気のコーナーもある。これまで利用してきた市民の皆さまも多くいることから、**当該施設の利活用について十分検討をしていただきたい。**

Q.次世代型園芸施設の 特長について

A. 本市の強みであるガスを活用、CO2排出量を大幅に削減し、センサーとICTを使い施設内の温度や明るさ、生育状況の見える化を図り、遮光カーテンや窓などの自動制御、遠隔操作によって省力化されている。また、土の代わりに特殊フィルムを使用し、自動給水機を活用した栽培方法を取り入れ、土つくりや水やりなど、熟練農家の技が誰でも再現可能となり、加えて水や肥料の使用量を削減できるという点である。

【答弁者：農水産政策課長】

松野けんいちろう 活動スナップ



長岡社会人バドミントンリーグ参戦



清掃活動ボランティア(JAM新潟)



部活動地域移行の勉強会



スマート農業拠点施設視察



次世代園芸施設視察(2月)



次世代園芸施設視察(7月)



ミライエ長岡西館オープン



ミライエ ステップ



ミライエ長岡へ移転した互尊文庫



長岡平和祈念式典



新潟県内初!
EVバス登場(越後交通)



四郎丸オリンピック(運動会)



池坊をたのしむ会花展



フードバンクながおか寄贈立会



旧機那サフラン酒本舗(錦鯉放流)



夜空を彩る長岡大花火



長岡駅周辺カラス追払い対応



カラス追払いのレーザー照射装置



池坊 佐藤支部長と



日々の子どもの見守り活動



秋山孝ポスター美術館オープン



地域要望対応(城内町三丁目)



仲間たちと海岸清掃



地域の補修作業(作業後)

